

響いた？4候補の演説

野中さんは河野太郎行政改革担当相について「実績をアピールして信頼性を上げた」と指摘。高市早苗前総務相は「人柄を伝えるのには効果的だった」と冒頭にお悔やみの言葉述べた。岸田文雄前政調会長、野田聖子幹事長代行についても「いくら抑揚を付けても

菅首相は説明や発信力が足りない問題を再三指摘してきた。4候補の演説は効果的に響いたどうか。スピーチやプレゼンテーションなど公の場における話題方「パブリックスピーキング」を指導する一般社団法人「コミュニケーション・スキル協会」の野中アンデイー代表理事に信頼性・論理、感情の三つの観点から分析してもらった。

2021自民党 総裁選

菅義偉首相（自民党総裁）の後任を決める総裁選が17日告示され、立候補した4候補がそろい演説会が開かれた。新型コロナウイルスの感染対策など課題が山積する中、専門家は各候補の発言内容をどう受け止めたのか。その評価を尋ねた。

識者が採点

河野氏 信頼へ実績アピール
岸田氏 まじめさは伝わるが
高市氏 主張に目新しさなく
野田氏 正論だが具体性欠く

自民総裁選
スピーチなどの
プロが見た
4候補の演説は?
(★の多い方が良い評



河野太郎氏 評価 ★★★★☆
十分に準備して臨んだことがわかる
話し方。原稿を記憶し、視線が自然で
ジェスチャーが際立った。話題のつな
がりが明瞭ではないため展開の仕方
に工夫があればなおよかつた

岸田文雄氏 評価 ★★★★★

最初に首相の功績に対して感謝の言葉を述べたのは良かった。昨年の総裁選敗北の話は自虐的だ。原稿を覚えておらず、書いた量が多すぎて最後は読み終えるのに必死だった。

高吉昌英氏 評価 ★★★★★

高市早苗氏 計画★★★★★
笑みを浮かべて話し始め、余裕を見せた。主張がまとまっていたため論理性があった。ただ「また」が多いのは気になった。繰り返しは語彙(ごい)の少なさを意味してしまう

野田聖子氏 評価 ★★★★★
原稿の読み上げでは信頼性も人柄も伝わらない。「なぜなのか」と問いかけるのは良かったが、論拠をきちんと示さないと簡単な内容を難しく言っているだけに聞こえてしまう

最大の課題である新型コロナ対策には各候補が言及した。感染症に詳しいけいゆう病院（横浜市）の菅谷憲夫医師は河野氏について「検査への高い関心がうかがえた。簡易検査キットの大量供給に触れたのは政治家としては踏み込んだ発言だ」と期待した。岸田氏については「自宅療養中に亡くなる人が続出したことを大きな問題と捉えて健康危

内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議の元メンバーで医療ジャーナリストの伊藤隼也さんは、河井氏のコロナ対策の説明について「現状分析が中心で、過去の政策に比べて踏み込んだ上で、コロナ対策にデジタルシステムを活用する」などと話をしていない」と指摘した。

「済対策は他の候補より具体的だった」と述べた。

野田氏は自らの演説で各候補の政策に「命や健康に直結するテーマが少ないのでは」と疑問を投げかけた。伊藤さんはこの姿勢を評価しつつも「スピード重視」「フェアな支援」などの言葉は納得できるが、国が本来目指すことをなぞっていて新しさは感じない」とし

原稿の読み上げをマイナス
聞き手には効果はない」と
とみた。それでも岸田氏の
話しぶりからは「まじめさ
や実直さが伝わった」。野
田氏については「『日本初
の女性の総理大臣になつた
ら』と言い、未来を想像さ
せた」と評価した。

国産治療薬の早期開発と生産設備への投資を訴えた点は「日本の創薬を考える」ぜひ実行していただきたい提案だ。野田氏がコロナ対策の一つに早期発見、早期治療を挙げたことには、「とても大切だ」と評価し、「もっと恒久的な対

創設については「コロナ対策を国家の危機管理と位置づけて触れたのは岸田さんだけ。省庁の連携不足が起きており、評価に値する」。高市氏の主張については「現状認識はしっかりとしているが目新しい話はなかつた。ただ、コロナ禍での経

機管理庁の創設を提案した
のならよく考えていい」と
話した。

感想的発想に通じる」と評価した。

国際政治史に詳しい上智大の宮城大蔵教授は、外交政策で河野氏を最も評価した。河野氏はアジアや中東、アフリカの民主化プロセスにおける日本の支援を「外交の柱の一つ」と強調するなどした。宮城教授は「丁寧でない表現は所々あったが、国際社会における日本の強みをよく考えた視点だ。米中の対立や台湾海峡の緊張などが注目される時代で、正統派の主張は逆に新鮮に映った」と話す。